公民館報
こすど

発行所　小須戸町公民館
新潟県小須戸町
編集兼印刷人　矢部藤三郎

母と娘の会を省みて

去る二月十六日午前十時より、小須戸中学校礼法室に於て、私たち小須戸町連合青年団婦人委員会主催、連合婦人会後援で「母と娘の会」を開催致しました。

当日の出席人数は親と子合わせて約百八十名で県の婦人少年室より講師として増田榮子先生をお迎えして「現代の女性の在り方」についての講演会よりはじめ、午後からは「母と娘の対談」、レクリエーションには「歌とおどり」又映画会と五時過ぎまで、身近の問題を話合いながらたのしいなごやかな一日を過しました。

「母と娘の対談」は講師を助言者として「恋愛」「結婚」又「民法」「嫁と姑」といろ〳〵出ましたがその中で、特に私の心を捕えたのは民法の問題でした。お母さん方の口をそろえておつしやられるには「今の息子や娘たちが学校でならつて来た」のだと、よくはにする「親は子供を育てる義務があるけれども、子供は親を扶養する義務はない、だから自由に結婚して親と子は別居してもそれは当ぜんだ」と云うことでした。

私も学生時代に、友だち同志でこう云う事を話合つたものでした。この事は母親の方には、今までの古い民法での、家族制度の必ずほとんどの遺産を長男に相続して、親をその長男が扶養したという安定した年老えてからの生活のし方の考えを無惨に打ち砕き恐怖のどん底に追い込んでしまつたと云う事でした、今の新しい民法では、親の遺産の分配は子供たち、女の子でも男の子でも、みんな平等に分配してもらえる権利があると云う事

したがつて親を扶養する義務は子供全体に平等にあると云う事、一口にいえば子供全部で、年老いた親を養わなければならないという義務がある事と、それは親を扶養しなくてもいいんだなどと間違つて解しやくしていたことを深く反省させられました。

私たち女の歴史をたどつてみます時、私たちの「母」「祖母」又その母親たちは、ただ子供の親として、その各々の社会の習慣や道徳的観念の制約を受け、又そのようなものより生み出された社会組織、政治、経済と封建的に冷たい「わく」の中にはめ込まれ、夢多き娘時代には家長である父に従う、嫁としては夫に、老えては子に従うという三従の「定」の中で自分を全く殺して、人間としての女の自由、又生き方権利などは少しも考えられなかつたのがあわれ、「女の一生」ではなかつたでしょうか。

生れながらにして続かる親と子の正しい愛の血は、どんな社会に於ても、どんなするどい刃物であつても断切る事は出来ない事、そして親子の間の問題の解決は、正しい愛情が第一であるということをこの会にあたり、なお一層痛切に考えさせられました。

この「母と娘の母」開催の動気はお互いに悲と娘が理解し合い良く知り合いたい事、そして親子一体となり、明るいたのしい社会を、家庭をより豊に築きたいと思う念願よりほとばしり出たものでございます。今後もなお一層婦人会の方と女子青年は協力して活動してゆきたいと思います。

連青婦人委員長）

春は寄生虫の活躍期

これから青野菜がたくさん出廻り春のほこりが立ち始めると寄生虫の活動がさかんになります。

人間の体の内外を卵や成虫としてグルグルめぐつて健康に大きな害を及ぼします。人間に寄生する虫は七十種類もありますが、その中でも断然蛔虫がトップで十人中七人までが蛔虫を持つているといわれています。

私は生野菜や漬物は食べないから大丈夫だなんて云う人がありますが蛔虫卵はどんな所にでもついていて体内に浸入する機会を狙つています。

日本中の半分以上は多かれ少なかれこの虫を寄生していると云われています。普通はそれほどの害はありませんが時々色々ないたづらをします。

寄生虫を持つた子供でも半数以上は格別目立つ様な症状を示さないものです。体や知能の発育にも活潑さにも無関係なるが少くありません。

又体重や身長がふいなかつたり神経過敏になつたりときどき腹痛や吐気を訴えたりすることがあります。寄生虫のいる、いないはうわべからはつきり判断が出来ないのでお医者さんや保健所で検査を受けるとわかります。

症状が出ていなくとも子供の寄生虫は早く出しておかないと色々な余病を起すこともあります。年に二度か三度位検便してもらつて寄生虫のいる場合は充分な量の駆虫薬を用いて虫を完全に下だして頂きたいと思います。

寄生虫の予防にはまづ食事の前には必らず手をきれいに洗うことが大切です。生で食べる野菜は何回もでいねいに水で洗つてから食べること、蛔虫卵は熱には弱いものですから煮え立つた湯に一〜二秒浸けておけば安全です。

厚生課

蚊ハエのいない明るい町をきづきましよう

第十六回囲碁将棋大会授賞

公民館で二月二十六日町囲碁将棋クラブ主催で第十六回囲碁将棋大会が開催された。

特に今回は初めての参加者も多数集り、各位の攻防の戦術をつくし午後四時過ぎ対局を打切られた。次の諸氏が賞を受けた。

囲碁の部
一等　小川　久　ウデコキ
二〃　須藤高義　ウデコキ
三〃　須藤正吉　ウデコキ
四〃　川井作馬　矢代田
五〃　中村昭平　二之町

将棋の部
一等　渡辺平七　一之町
二〃　名古屋清一郎
三〃　高野松一　下八枚
四〃　川瀬六三郎　神明町
五〃　川瀬栄吉　横町

町民かくし芸大会スナップ
劇「お里沢市」

町民かくし藝大会
盛会裡に終る

町民各位の待望する無邪気なところなど十の町民かくし芸大会は、本年は特に昨年までの各分館単位の出演を主として催されて来た。今回は行き方を、協会の皆さんの小須戸甚句、せつかくの力がなくなり、用が受けられなくなりますので、左記に該当されると思う方は至急『町役場厚生課係まで』申出下さるよう御願いいたします。

なお未裁定（請求手続をやつたがまだ証書の来ない方）の方や、請求手続をやつたかどうか不明の方等為念一応係まで連絡の上確め置き下さい。

又、受給者においても途中身分や、年令の変化に依り権利の消滅ということもありますのでよく読んで戴いて下さい。

部落を単位として、十六支部より出演を戴き、なお小学校、中学校、高校各保育所の出演を得て、去る二月十九日午前九時より、小須戸分館を会場として開催された。

当日は折よく好天候にめぐまれ、又、各支部より多数の出演とあつて観覧者も多数会場におしかけた。

小中学校生徒による演出、ギター演奏、舞踊など大変立派に。第一、第二各保育所の幼児による無邪気なところなど十数種目が演出された。

又一般の部でも今年は最初のこゝろみではあつたが、町民の誰も彼もが日頃の繁忙を忘れ童心に返つて参加され、各支部で技巧をこらした演芸が行われた。特に例年にくらべて劇の出演も多く、老いも、若きも多数出演されて来た。小須戸甚句保存会は、今回は句を最後に、五時過ぎ大会を終了した。

老いも若きも婦人も子供も多彩な芸に手を打ち、又腹をかゝえて笑い、などの顔も和やかで晴れやかでした。

寄附御礼

第九回町民かくし芸大会に対し、賞品その他たくさんの寄附をいただきましたので、こゝに紙上をもつて厚く御礼申し上げます

公民館

戦傷病者戦没者遺族等援護法関係について

"請求洩れの方はありませんか"
"権利の消滅される方はありませんか"

戦傷病者戦没者遺族等を援護することを目的として、昭和二十七年四月三十日法律第百二十七号をもつて公布施行されたより、当町に於いても該当者分については、それぞれ請求手続をやつて参り現在に於ては一部を除き事務的には殆んど完了いたしましたが、万一不詳其の他で未請求の方があつたりして、七年間を経過すると効力がなくなり、せつかくの援護法の適用が受けられなくなりますので、左記に該当されると思う方は至急『町役場厚生課係まで』申出下さるよう御願いいたします。

なお未裁定（請求手続をやつたがまだ証書の来ない方）の方や、請求手続をやつたかどうか不明の方等為念一応係まで連絡の上確め置き下さい。

又、受給者においても途中身分や、年令の変化に依り権利の消滅ということもありますのでよく読んで戴いて下さい。

弔慰金について

(イ)軍人軍属が昭和十六年十二月八日以后における公務上の傷病により死亡した場合には、一時金たる弔慰金が支給されます。

(ロ)国家総動員法に基く勅令の規定により徴用された者、協力させられた者、陸海軍の要請に基いて、戦闘に参加した者、及び特別未既還者についてもその身分を有していた期間における公務上傷病に準ずべき傷病により死亡した時は軍人軍属に準じて弔慰金が支給されます。

遺族年金

在職期間内に公務上負傷し、又は疾病にかゝりて死亡した軍人軍属の遺族

(イ)遺族の範囲

遺族年金を受けるべき遺族の範囲は、死亡した者の死亡の当時における配偶者（婚姻の届出をしていないが事実上婚姻関係と同様の事情にあつた者を含む）子、父母、孫、祖父、祖母で死亡した者の死亡の当時、日本の国籍を有し、且つその者により生計を維持し、又はその者の生計をもとにしていたもの（死亡した者の死亡当時その者の軍人軍属たることによる勤務がなかつたならばこれらの条件に該当していたものと認められるものを含む）

(ロ)遺族年金を受ける権利の消滅

一、死亡した時
二、日本国籍を失つた時
三、離縁によつて死亡した者との親族関係が終了したとき
四、配偶者については婚姻（届出をしないが事実上婚姻関係と同様の事情に入つていると認められる場合を含む）したとき。
死亡した者の兄弟姉妹で死亡した者の死亡当時その者によつて生計を維持し又はその者と生計をともにしていたもの以外の者の養子となつたとき、
五、父母、祖父母が婚姻によりその氏を改めたとき
六、その他

傷病年金及び障害一時金の支給

(イ)軍人軍属であつたものが在職期間内に公務上負傷し、又は疾病にかつた場合において、昭和二十七年四月一日以後において当該負傷又は疾病により同項により規定する程度の不具廃疾の程度及び状態に応じて障害年金又は障害一時金が支給されます。

(ロ)軍人軍属であつたものが在職期間内に公務上負傷し、又は疾病にかゝり、昭和二十七年四月一日において当該負傷、又は疾病によるものは法に定める程度の不具廃疾の程度に応じて障害年金若しくは障害一時金が支給されます。

厚生課

正會員募集

女子（踊）若干名（年令十八才より廿五才未満）
男子（笛）若干名（年令二十才より四十才未満）
男子（唄）若干名（年令二十才より四十才未満）
締切　四月十日
申込　公民館（若しくは会員宅）
小須戸甚句協会

寫眞募集

左記により館報掲載写真をお寄せ下さい。

記

一、題材、風景、静物、記録写真その他なるべく町に関係あるものを希望します。
一、大きさ　名刺版以上

原稿募集

建設的な意見をどしどし寄稿して下さい。

◇総会開催について

来る二十九日夜七時より公民館図書室を利用なさつている会員の総会を開催致したいと思います。万障繰り合わせ多数御出席下さるようおねがい致します。

会議にかける問題は

(一)
1. 図書室の今後の運営について
2. 図書購入委員選出について
3. 貸出し期日及び時間について
4. 貸出し当番について
5. その他

(二)
1. 会費　三〇円
2. 出席の有無は公民館へ御連絡下さい。

◇新年度の貸出し開始期日について

新しい年の始まりは普通一月一日からですが、公民館図書室では四月一日からです。

昭和三十一年度の図書貸出しは四月三日から開始する事になつています。

いまゝで御利用下さつた方々の借り出すカードの期日は昭和三十一年三月末迄になつています。

保証金や遅滞金は一応昨年通りとさせつています。

新しくお入りになる方のために貸出しのきまりを次のようにお知らせ致します。

◇貸出しのきまり

●貸出の日

公民館図書室便り

三と八の市日　昼十時！十二時　夜七時－九時

毎日曜日午前十時－午后四時

●保証金　月十回の割にて翌三月年度変り分まで頂きます

●貸出し期間　新刊書は五日間其の他は十日間返し下さい

●期限を過ぎた時は五日毎に十回の割で遅滞金を必ず頂きます

●本を紛失、汚傷した場合は相当額を弁償して頂きます

◇図書のあっかいについてのおねがい

一回の図書貸出し冊数は約一〇〇冊ですが、出し入れの数は二〇〇冊になるというわけです。

どんなにしつかり製本された本でもわづかにして又製本やりなおさなければならぬようにいたんでしまいます。

一度公民館で製本された図書は二度やることは不可能なので、おしいけれども破本としてもう利用出来なくなるのですから一人でも多く読んでいたゞくよう読まれるときは充分御注意いたゞきたいと思います。

◇御注意

●本の転貸借は絶対にしないで下さい

●貸出し期間内に必ずお返し下さい

出生・死亡

二月一日～二十九日

出生　二十名

（小須戸）田中幸子
荻原美晴
杉本はるみ
竹石ミサ子
藤田悦子
岡崎竹虎
上田千鶴子
田上亨子
五十嵐英
鎌倉笠川悦子
渡辺文子
西村則子
馬場勝子
長沢陽子
（横川）正
（矢代田）中野三智子
田沢義春
（竜玄）丸山誠
（天ヶ沢）鶴巻律子
（新保）近藤勝

死亡　七名

（小須戸）小林留吉
竹石シサ子
（矢代田）保科ノセ
新井田ミネ　田沢清吉
（竜玄）星名鈴江
川瀬哲

戸籍課

今年の行事

一度は私も富士山へ（其の一）

山岳会

かねて大方皆様の要望で富士登山会試案を作つて見ました。貴重な紙面を借りましてその要点第一報を御案内致します。

老若男女を問わず多数御参加願います

(一)期日
時候の都合上、七月二〇日頃の予定
三泊三日（通算）

(二)コース
矢代田駅発上越線廻り夜行で登山口駅へ
翌(一)早朝登山バスで富士山五合目まで、それより徒歩で山頂へ
山中一泊
翌(二)朝、下山五合目よりバスで登山口まで、信越線廻りで矢代田駅へ
翌(三)朝帰宅（又は汽車旅程これと逆廻り）
数回経験の先達が御案内致します

(三)経費
汽車、バス、宿泊料等一切で金参千円以内（飯米、嗜好品は各自持参のこと）

(四)経費の集め方
市場日（又は五・十の日）毎に百円紙積立（三月より七月まで）
三月分は（申込金）六百円を申込と同時に。
参加希望申込者宅へ山岳会で頂きに参上致します（大字小須戸区内だけ）部落の方面の方及び町外のお方は御知り合へ御托し願いれば結好です。

申込〆切り
四月末日まで

申込所
小須戸町公民館内小須戸山岳会
又は一番町「徳金物店
二番町㊂メリヤス本店

この行事は一般の皆様を対象にしたレクリエーションです。参加者の皆様の意向を尊重致します事前なら多分の変更も出来ます。

朝な夕なに私達が仰ぎ見ている五頭山がまねいています。

美味しい手作りのおむすびを持つてさあ、あなたも一諸に行きましょう。

蜂霊の雪の残雪（二の其）
五頭山へ

（迄日五月四　みし申込）

やがて若草がめばえて、雪深い谷間も春の息吹を奏でる頃となります。残雪を踏み山頂に一息すれば、民謡おけさの島、夢の佐渡が呼べば答いてくれましょう。さわやかな山の空気の中で春を万喫しましょう。帰途に天下の名湯、村杉のラジウム温泉に俗塵を洗い流して、更に明日への生産向上に資しようではありませんか

（経費　約二〇〇円）

人員整理の都合上四月五日に〆切らせて頂きます

四月十五日貸切りバスにて公民館前出発

集合時間は〆切り後、公民館前掲示発表

申込所
公民館内小須戸山岳会
又は一番町金徳金物店
二番町㊂メリヤス本店

登山講座（一）
残雪期登山

一定ではありませんが三月、四月から五月、六月にかけて残雪のある時節に登山することをいゝます。

この頃の天候の良い日を選んで登山すれば、谷間を埋めた残雪が堅く谷に橋を掛け渡したようになり、峰と峰の間を深い谷川まで下降してまた登高する苦労がいりません。ので比較的に平坦の山途を行くような事になるので非常に時間的に経済です。

草木の茂みも年中を通じて一番少くて眺望に恵れておるのがこの季節の山行きの良い特徴です。

横水分館だより
村民卓球大会
小向チーム優勝

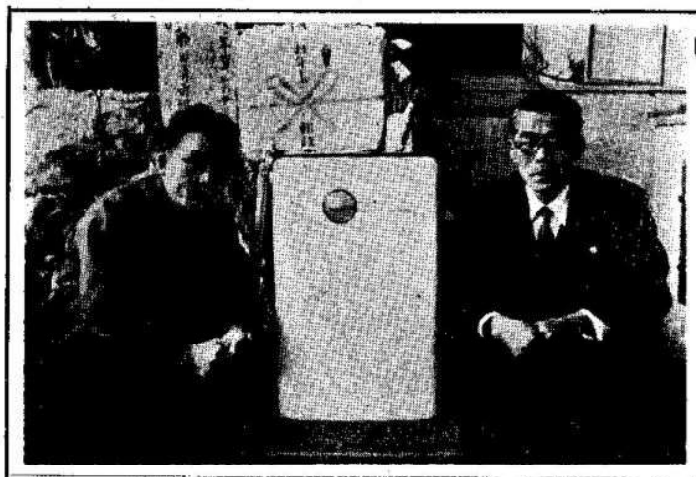
横水分館では最近卓球が男女を問わず盛んに行われておるので斯道奨励の為、去る二月十七日午前十時より村民卓球大会が開催され、午前は各チームより男女三名づゝの六シングルス一ミックスの団体戦が行われ、午後より個人戦が行われ大会一日を盛会に終了した。

なお大会成績は次のように決つた。

団体戦
一等　小向チーム
二等　横川チーム
三等　水田チーム

個人戦
男子の部
一等　鈴木重男（水田）
二等　高野久栄（横川）
三等　高野峰雄（小向）

女子の部
一等　井上愛（小向）
二等　海津千代枝（水田）
三等　堀内玲子（横川）



大当り
電氣洗濯機

新春早々、電気洗濯機（特賞）がころげこむという話。それは郵政省のサービス、お年玉つき年賀はがきで当つた。

「小須戸郵便局区内」藤田勇市郎さん（中新田）思わぬお年玉にお喜び、特賞電氣洗濯機五二〇本のうちの一人の幸運者。

電気洗濯機など誰れにあたるかと思いもよらぬ特賞も案外私たちの身近にあるようです。

皆さんのところにも当つていませんか。念のためもう一度お手元のくじを調べてみましょう。

引換えは七月十九日までですがわすれぬうちにお早く。郵便局は皆様の引換をおまちしています。

（小須戸郵便局）

（写真はお年玉の洗濯機を前に藤田さんと五十嵐局長さん）

購入図書

現代
◇狸小路の花嫁　林房雄
◇牛肉と馬鈴薯　国木田独歩
◇月夜の傘　壺井栄
◇続々東京の人　川端康成
◇完結東京の人　全

時代
◇鐵形平次捕物全集（四十二）　野村胡堂
◇浪人祭　長谷川伸
◇吉川英治集
◇大菩薩峠（四）　中里介山

教養
◇話の術典　徳川夢声
◇中共拝見　門田勲
◇日本のむこ殿　読売新聞社会部

探偵
◇大いなる眠り　レイモンド チャンドラー
◇ローラ殺人事件　ヴェラ キャスパリ
◇アクロイド殺人事件　アガサ クリスチイ
◇上を見るな　島田一男

ユーモア
◇千葉周作　武田繁太郎
◇名作開書（下）　安藤鶴夫
◇かみなり青春記　鳴山草平
◇鬼の居ぬ間　源氏鶏太

クラッシック
レコードコンサート

期日　四月十四日　午後七時
会場　公民館二階会議室
曲目　ポスターでお知らせ

愛好者を多数おさそいの上御来場下さい

俳句
松の内
小須戸町俳句同好会

笑い初め話上手が一人居て　旺賚
歌留多とる中の一人は帰省の娘　溪灯
妻と吾と買う物きめて買初に　一灯
来てくれたことだけでよし年始客　静堂
織初の織機百台皆機嫌　健歩
台所明るく田来て松の内　香月
年賀客へ螢光灯の奥座敷　虚秋
初かまど音たてゝ燃ゆるクルミ殻　庄三郎
初化粧汽車待つ雑沓より匂う　まつし
新巻の片身そがれし厨築　灯流
雪筏果てすとの柳島ほのけ立ち　紫川
餅焼きし匂い残せし火鉢かな　ひさ
初衣家踊りおさめし舞扇　虚風
里帰る婿々とし子等に今日和　芳村
蔵玉や素足さわりのよき筵　秋
糸屑のはや肩につき機始め　山葵
紅すべる躾の音や春衣　杏水
此の親にして此の子あり吉書の美　水月
新雪を沓み鳴らしつゝ初詣　流水

珪酸石灰の効果は県内ではどのようになつているか

近年水稲に対する珪酸の効果が認められ、珪酸肥料としてすでに八〇種近くが登録されている現状です。然し水稲に対する珪酸の生理的作用はいまだに不明の点が多く、又土壌中の有効珪酸の検定法も確立されていないため、現在のところ、その適応地は現地試験によつて検討されております。

県内に於ては既往の試験が少なく、適応地が確認されていないので、昨年県の指定により各地区の農業改良普及所は夫々異なる地帯で県下全般に亘つて試験を行つた。その結果が纒められたので概要を述べてみたい。

◎成績の摘要

各種の試験成績表は紙面の関係で略したい。本試験は、県農業試験場と農業改良普及所と共同で実施したものである。

(1)水稲の初期生育は二〇三の地区を除いては全般的に稍優る傾向を示した。

(2)草丈は一般に稍高く、収穫期に於ける稈長、穂長共に稍優り、此の傾向は地帯別明らかでない。

(3)葉色は一般に珪酸石灰施用区が濃色で、生育全期を通じ数ケ所の例外を除いて感ぜられた。

(4)熟色並に稔実共に向上することが認められる。

(5)根の状態が珪酸石灰施用に依り良好になつたとの報告がある。

(6)珪酸石灰の種類別効果は脱燐スラグが稍優りフェロマンガン、製鉄スラグは差が少い傾向にある。

(7)土性別に於ける効果は砂質土壌は粘質土壌地帯に比べて効果が明らかに高い。

(8)乾田、湿田に於て比較すると、乾田の増収効果が、平均二斗二升、湿田が一斗九升であつた。

(9)全般的に標準区の収量が平年に比べて可成高くなつているが、今年の如き天候下で標準区の収益が三石以下の地帯では約一割の増収が見られた。

◎総括

成績を総括すると、水稲に対する珪酸肥料効果は、総体的に見て平均すると約二斗の増収が認められた。

地帯別に於ける効果は砂質土壌地帯では例外はあるが顕著で、埴質土壌地帯では前者に比べて効果は概して低い傾向を示している。この地帯には極めて効果の著しい地帯もあり、地区別の差が大きい。尚堆肥を連年多く施用している水田に於ては、比較的効果が低い傾向を示している。

珪酸石灰区が標準区より低収の地区もあつたが一般には二%内外の差であるから、珪酸肥料によつて、水稲の生育が抑制されることは考えられない。然し収量が八%も少ない所があるが、此等については今後尚検討を要する。

珪酸肥料を種類別に比較すると、地帯別供試珪酸石灰の組合せ等に不備な点があつた為比較は稍困難であるが、強いて区分すると種類間に大差はないが、脱燐スラグが稍優つた。

施用量については製鉄スラグのみを反当三〇〆と五〇〆を施用して比較したが、地帯によつては異つているが、概して五〇〆区が優つているようである。従つて今年の成績のみで適量を決定することは出来ない。

珪酸肥料を施用すると窒素肥料の適量が増加する為、窒素肥料の増施によつて収量の増加を図ることが出来る説や、或は出来過ぎの稲に対し珪酸石灰を追肥することにより、出来過ぎを防止するなどの説があるが、これらは特殊の場合のみのように考えられるので、夫々の現地の成績を充分検討して対処したい。このことは逆に本試験に於ては珪酸石灰を施用して、むしろ窒素過剰の傾向を示したと云う報告、尚又珪酸石灰の追肥をやつたためむしろ出来過ぎを助長したと云う報告も一～二受けている。

何れにしても、珪酸肥料は新らしい問題だけに不明の点も多く、今後色々の地帯で、数多くの試験を行い、細く検討されなければならない。

付言すると、畑における麦等に対する効果は酸性中和の石灰の効果のみで珪酸は効かないと考えられる。裏作についても一般に効果は無いようであるが、今後の研究に待つべきでろう。

（新津地区改良普及所）

推薦したい
農業図書
「農業改良」

県農業試験場長が編集兼発行人だけあつて、雑誌や新聞の中で最も多く読まれている農業技術新聞である。試験研究機関や県の指導機関の人達より、全面的に援助される仕組になつているだけあつて、他の見られない特色を持つており、本県農家の農業改良や生活改善に、大きな役割を果している。

この新聞を読むようになつてからは、自分の稲作の欠点がよく判るようになつて、最近は安定作に少しづゝ自信が得られるようだ。と告白する農家が増して来ていることは事実であつて、逐次読者を多くすることにより自主性ある農民が育成され、今後の活動に大いに期待できるのではなかろうか。

本町にも全農家の一割余の読者が居るが、増産出来る要素が整備されつゝある現在、余りにも少ないと思う。これからの農業は頭の使い方によつて、進歩の差が著しく出て来ることは、既に認められている。今からでも遅くはない。帯に農耕者の良き道標として、多くの人から愛読されることを希望したい。

申込は農業改良普及員か農協にお話し下されば手続きをとつてくれます。尚発行所にも直接註文もできます。

発行所　新潟市上大川前
新潟県農業改良協会
毎月　三回発行
定価　一ケ年三六〇円
（農業改良普及所）

◇猫の裁判　内田亮
◇死刑　正木亮
◇原子力　河出孝雄
◇米　福島要一
◇弁証法はどういう科学か　三浦つとむ

随筆
◇亭主の日給袋　奥野信太郎
◇教壇生活三十年　谷崎精二
◇百閑随筆　内田百閑
◇社会散歩　荒川秀雄
◇逃かげん　高橋毅一郎

社会
◇光る氷山　山田健二
◇国鉄にもの申す　国鉄研究会編

芸術
◇国際写真サロン　朝日新聞社

◇人間の家族　日本経済新聞社
◇ホンヤク　ウェヴスター
◇あしながおじさん　ナンシー姉さん
◇三国志（三）　訳　吉川英治

講談全集
◇番町皿屋敷
◇一心太助
◇大石良雄

記録
◇留守家族　昇曙夢

雑誌
◇オール読物　四月号
◇キネマ旬報　二月下旬
◇野球界（三）
◇キネマ旬報　三月上旬
◇別冊文芸春秋　第五十号記念特集
◇文芸春秋漫画読本　腸春特別号
◇婦人朝日　四月号

歴史
◇こども風土記　北海道　北海タイムス文化部

家庭
◇あそび読本　安西愛子

短歌
丸山一夫

「現実」

○或ることを詳ひらかにせば
なにもかも破滅を知りて故に淋しく

○求めざる不幸の下に生きるものは
信不信を問わずに生きるか

○俘わせはいづれにあり
現実に生きれば何か或るものを失う

「録音」

○切実に訴う「危機」なき故に
空々しくも聴き居る罪は

訂正

館報一月発行二面の水稲増収競作会入賞者記事中新保、石本吉平とあるは石本清吉の誤り。